

# 実践記録

## 191

### シリーズ

## サバイバルキャンプ ～今年の夏の主役は君だ！～

津南町公民館 小林 義明

### ◆事業の概要

小学4年生から中学3年生を対象に、3泊4日のキャンプ生活を行います。異年齢集団での共同生活をしながら、様々な自然体験活動を実施します。

また、高校生以上のボランティアも募り、子どもたちと一緒に活動を行います。

### ◆事業のねらい

異年齢集団での共同生活や様々な自然体験活動を通して、自然に対する適応能力や自主性、積極性、協調性、社会性、体力、気力、リーダーシップ力を養うことをねらいとしています。

### ◆活動の様子

#### 【竹細工(コップ・箸・くし)】

キャンプ生活で使用するコップ・箸・くしを作ります。コップと箸は、毎回食事の際に使用します。くしは魚釣り体験で釣った魚をくし焼きにする際に使用します。



#### 【山菜採り体験】

自給自足！自分たちで食べる物は自分たちで調達します。食べられる山菜を学び、自然の食材に感謝しながら現地食材調達します。



#### 【魚釣り体験】

キャンプ場の釣り堀で、ニジマス釣り体験。なかなか釣れずに悪戦苦闘！生きた魚に触ることができて良い経験に！？釣った魚はもちろんおいしくいただきます！



#### 【山伏山登山】

足が痛い。疲れた。暑い。でも仲間がいれば大丈夫！みんなでおしゃべりしながら楽しく登山！山頂に着けば、そこには達成感と絶景が待っています！途中で立ち寄る風穴も涼しくて気持ちいい！



#### 【カヤック体験】

普段ではなかなか体験できないカヤックも、サバキャンでは恒例イベント。サバキャン常連の子は、慣れた手つきでスイスイ進み、初体験も子どもフラフラしながらなんとか進みます！最後はみんな湖に落水！冷たくて気持ちいい！



#### 【火起こし体験】

縄文式の火起こし体験。火起こし道具を使って火

種を作り、火種を綿へ投入。あとは息をフーフー吹きかけて、燃え上がれば大歓声！火起こしだけでもこんなに大変！縄文時代の生活の大変さを実感！



### ◆事業の課題

#### ①活動のマナー化

例年同じ活動なので、少しずつ新しい活動・体験を組み入れていきたいと思っています。

#### ②高校生以上のボランティアの確保

活動や体験のサポート、子どもたちの見張り役などとして重要な役割を担っています。より安全に楽しく充実した活動を行うため、また、ボランティア自身の成長のためにも、より多くのボランティアを募りたいと思っています。

#### ③悪天候時の対応

今年のサバキャンで、悪天候のため中止になった事業があり、ただ待機しているだけになってしまいました。そうしたことを考慮し、前もって別の活動を考えておいた方が良かったと感じました。

### サバイバルキャンプ2013

#### 【目的】

豊かな自然の中で、たくましく生きる力、自然の恵みを活用する知恵と冒険する勇氣、自らの体力に挑戦する精神力を養う。仲間との共同生活をとおして、自主性、積極性、協調性を身につける。

【期 日】平成25年7月30日(火)～8月2日(金) 3泊4日

【会 場】津南町山伏山 無印良品津南キャンプ場(Tel.766-2860)  
津南町卯ノ木 なじよもん縄文村(Tel.765-5511)

【参加者】小学4年生～中学3年生 男子22名 女子25名 計47名  
(津南40名 十日町7名)

#### 【持ち物】

食：1日目の昼食(おにぎり等)、米(8合～1升)、ペットボトル(飲料用)、空の牛乳パック(1歳)2個(崩さない状態で)、お椀(ご飯用とお汁用)

衣：着替え(4日分※下着も忘れずに)、ねまき(学校の体操着でよい)、長靴、水着(カヤック体験時に着用)、長ズボン、長袖シャツ、帽子、サンダル、靴下(くつずれ予防)、雨具(カッパまたはウインドブレーカー上下)

その他：寝袋または毛布、タオル(数枚)、洗面用具、常備薬(普段服用している薬等)、ポケットティッシュ、懐中電灯、軍手、買い物袋2～3枚(ゴミ袋を兼ねて)、補助リュック(サバイバルウォーク時等に使用)、健康調査票、筆記用具

※持ち物には可能な限り、学校・学年・氏名を記入すること。  
※衣類など、雨等でぬれる心配のあるものは、ビニール袋などに入れて持参すること。

【服 装】自由(動きやすいもの)

はきなれた運動靴(滑りにくいものが望ましい)

【主 催】津南町青少年育成町民会議

【引 率】津南町青少年育成町民会議(健全育成部会)

津南町教育委員会(津南町青少年育成町民会議事務局)  
Tel.765-3134

十日町市教育委員会中里公民館 Tel.763-2493

#### 【その他】

(1) 傷害保険に加入しますが、それ以上の責任は負いかねます。

(2) 各家庭から緊急に参加者と連絡をとりたい場合  
平日8:30～17:30は津南町教育委員会、それ以降翌朝までと土日はキャンプ場へ。